



古瀬間ばやし

地域とのかかわりを大切にした教育活動による

「WE LOVE 古瀬間」を実感できる子の育成

～地域の人材活用と発信の工夫～

豊田市立古瀬間小学校

<連携校：豊田市立益富中学校・豊田市立五ヶ丘小学校・豊田市立五ヶ丘東小学校>

1 実践のねらい

- (1) 地域の方とともに学ぶ取組を通して、地域の一員としての自覚を高め、「WE LOVE 古瀬間」の心の育成を図る。
- (2) 地域の方とともに学ぶ子供たちの姿や学習の成果を家庭・地域に効果的に発信し、「地域ぐるみで学び合い」の基盤の構築を図る。

2 実践の内容

(1) 地域の人材活用

①「はるかのみまわり」プロジェクト【ボランティアの児童 5月～10月】

ボランティア委員会を中心に、益富中学校と連携して、ラグビーW杯に向けて、はまわりの種をまき、育てた。その種は、震災の被災地で咲いた「はるかのみまわり」の生まれ変わりの種である。その種を育て、来年被災地である神戸・釜石・熊本と豊田で行われるラグビーW杯のスタジアム周辺をひまわりで飾ろうと計画している。水やりに便利で、日当たりがよく、地域の方にも目を留めていただけるよう、正門に設置した。育てた種を4年生が合唱交流会で中学校に贈呈したり、地域の方に分けたりして、震災から生まれた奇跡の絆（きずな）をつなげた。その種を再び育て、この「はるかのみまわり」でいっぱいになるのを子供たちは楽しみにしている。



「はるかのみまわり」プロジェクト

②「益富蛍友会」の方から学ぶホタル学習【5年生 5月】

益富蛍友会の方から、ゲンジボタルの実物を観察して生態を学んだり、えさとなるカワニナを見せていただいたりした。以前の益富地区は、ホタルが数多く生存していたが、近年森林が切り開かれ、ホタルが生息するのが難しくなった。そのため益富蛍友会の方が、自然を守り、ホタルを守る活動をしている。その姿を見て、交流館で行われたホタル観賞会に参加し、連携校とともに進行を手伝うボランティア活動をしたり、ホタルの生息を調べて発表したり、ホタルを守るためにできることを呼びかけたりして、地域のために活動する子が出てきた。



ホタル学習

③地域の英語ボランティアの方とともに学ぶ外国語活動（イングリッシュフェスティバル）【3・6年 12月】

地域の身近な方を英語ボランティアとして迎え、英語学習を行っている。共に英語を学ぶことを通して、地域の方々に親しみを感じたり英語をより身近に感じたりしている。この活動により、自分も地域に役に立つことができるよう地域に寄り添って活動する気持ちが芽生えている。また、イングリッシュフェスティバルでは、古瀬間小学校の様子や行事を簡単な英語や写真・フリップを用いて紹介したり、外国の小学校の様子を学んだりして、外国の良さを認めるとともに自校の良さにも気付くことができた。



外国語活動

④地域の方による「益富音頭」の伝承と交流【1年 7月】

益富音頭保存会の皆さんをお招きして、1年生が「益富音頭」を教えていただいた。歌詞には益富地区の良いところがあり込まれており、歌詞の説明を聞きながら踊りを覚えた。夏休みには地域の夏祭りで、手製のうちわを手に、地域の一員として踊った子もいた。



益富音頭

⑤連携校との合唱による交流【4年 10月】

益富中学校で益富校区合唱交流会を行った。本校は市の音楽大会に向けて練習をしてきた4年生が参加した。それぞれの学校が発表した後、良かったところを伝えたり、アドバイスをしたりして、連携校と交流を深めた。その活動により本校の4年生は、音楽大会に自信をもって臨むことができた。

⑥「古瀬間」への愛着を深める「里山歩き」【6年 2月】

古瀬間校区内の歴史的遺跡・遺物を巡り、地域の方から太古の昔からつながる校区の歴史を語っていただくことにより、ふるさと古瀬間を大切に受け継いでいこうとする意識を育てた。ボランティアとして20名の方が里山の整備やガイドをしていただいた。



里山歩き

⑦その他の活動

- ・お茶摘み【2年 5月】
- ・梅採り【1年 6月】
- ・古瀬間ばやしバチ作り【4年 10月】
- ・益富交流館ふれあい祭り作品展示【6年 11月】
- ・学芸会大道具、衣装作り【1・6年 11月】
- ・モンゴル国際交流【5年 12月】
- ・みそ作り【3年 12月】
- ・生き方を学ぶ会【6年 1月】

(2) 発信の工夫

活動の様子は、Webページや学校便り、地域支援室便りで紹介した。また、学芸会の発表の中でもサポートしていただいた大道具作りや衣装作りの様子を映像で紹介し、参観者にも伝えた。本年度は、活動のまとめとして、「WE LOVE 古瀬間」カレンダーを作成し、家庭や地域に配付した。



古瀬間ハートフル便り

3 実践の成果や課題

「益富音頭」「古瀬間ばやし」では、郷土の良さを知り、益富の歴史や伝統に触れ、地域を愛する心が育まれた。また、「みそ作り」「ホタル学習」など地域の講師の方から学んだり、技を教えていただいたりすることにより、地域の方々のすばらしさを実感し、古瀬間地区に今以上に愛着をもち、自分も地域のために活動したいという姿が見られた。「合唱交流」や「ふれあい祭り」では、地域の文化に触れ合ったり、意見交流したりして、地域の一員としての自覚を高めた。最後に1年間の古瀬間小学校と地域の方との交流をまとめ「WE LOVE 古瀬間」カレンダーを作成した。そのカレンダーの作成により、子供たちも交流に見通しをもって臨んだり、楽しみにしたりして、次の学習を更に実りのあるものにしていこうとする心構えや期待をもつことができた。

このように「WE LOVE 古瀬間」の取組を通して、古瀬間のもつ他の地域に誇ることのできるすばらしい魅力について学び、古瀬間を更に好きになり地域に愛着をもつ子供を育てることができた。

今後もこのような活動を続けていくことができるように地域の方々とつながりを大切に、また、新たに地域講師の人材を発掘し、地域の方々と交流を図り、継続していきたい。



WE LOVE 古瀬間カレンダー